

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力
ボフタール行政郡ザルガル地区キロフ村第25学校校舎改修計画
供与式報告

平成26年9月1日、「ボフタール行政郡ザルガル地区キロフ村第25学校校舎改修計画」の供与式を行い、鎌田大使が出席しました。ボフタール行政郡ザルガル地区はハトロン州の州都クルガンテッパ市から7.5 km、ドウシャンベ市から約100 km南方の平地にあり、約22万の人々が暮らしています。

本計画では、700人以上の生徒が通う第25学校の校舎改修工事を行いました。この学校は1年生から11年生が学ぶ小・中・高の一貫校で、この地域ではとても重要性の高い学校です。第25学校は1951年に開校された後、50年代後半、そして80年代にも校舎が増築されましたが、経年のため屋根、壁、床などの劣化が進み、一部の教室が閉鎖され、その他の教室も閉鎖の危機にありました。教室数減少に伴い、生徒たちの学習環境は悪化し、学業に大きな悪影響をもたらしていました。

この度、日本の支援により全校舎の外装・内装の改修工事が行われ、閉鎖していた教室も再開し、全生徒が適切な環境で教育を受けることが可能となりました。



供与式にてジャボリ・ガフォル行政郡長及び第25学校の生徒達から歓迎を受ける鎌田大使。



同行政郡長より、日本の支援に対する感謝が述べられました。



本計画の改修工事により、内装や壁が改修され、教育環境が改善されました。



日本の支援を示すODAプレートが設置され、教室の扉や窓にもステッカーが貼付されました。